

第1章 計画の概要

1. 計画策定の趣旨

地域福祉計画は、社会福祉法第107条の規定に基づき、地域福祉増進の理念や方針を明確に示すものであり、地域福祉を具体的に推進する観点から福祉分野及びそれに関する様々な計画や施策を総合的かつ一体的に定めるものです。

社会における少子高齢化の進展、人口減少社会の到来、地域コミュニティの弱体化など、近年の社会情勢が著しく変化する中で、地域の課題はますます多様化し、複雑化しています。これらの課題を、既存の福祉制度だけですべて解決することは困難であり、行政だけではなく、地域や民間も連携・協力して、地域の課題に対応した取り組みを進めていく必要があります。

鷹栖町では、平成26年に策定した「お互い様づくり行動計画」に基づき、「相談体制の整備強化」、「見守り体制の整備強化」、「居場所づくり」、「買い物支援」、「権利擁護の推進」の5本柱を重点施策として取り組みを進めてきました。

お互い様づくり行動計画に基づいた取り組みの成果として、重点施策における基盤が整備されたとともに、地域が主体となって、地域の課題を解決する新たな取り組みも生まれました。そうした取り組みや動きをより推進するために、そこから紡ぎ出された地域福祉に対する理念や方針を示すとともに、活動が見える化し、共有することが今後は必要になってきます。

さらには、そうした活動を支えるための担い手やコーディネーター等の人づくりはもちろんのこと、地域住民やNPO（非営利活動団体）、民間団体、民間事業者、行政等がそれぞれの枠を越えて地域の課題に向き合う、強固なネットワークの構築が重要となります。

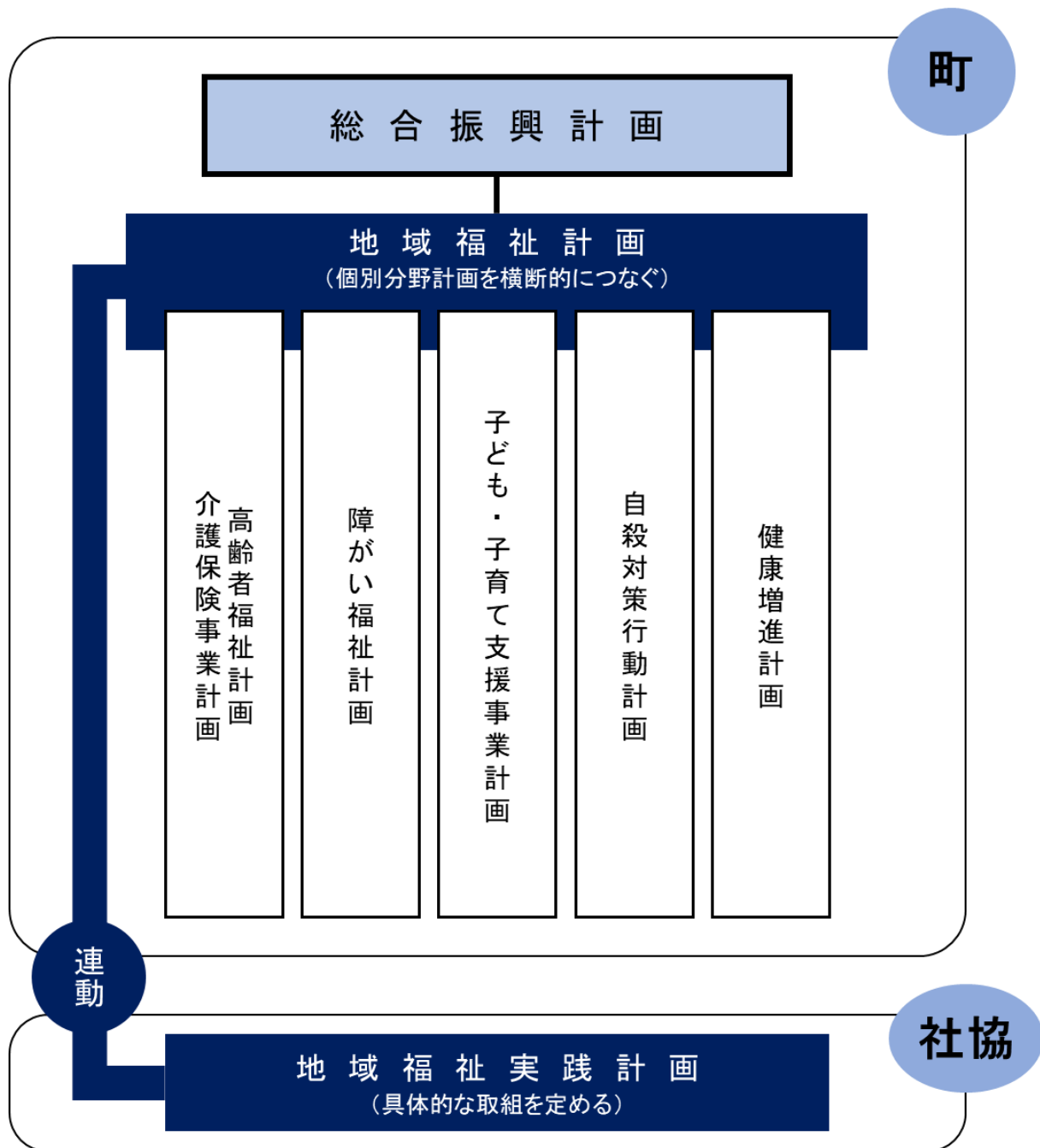
第1期鷹栖町地域福祉計画は、こうした現状の中で、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を推進していくための新たな指針となるものです。そのため、計画の策定に当たっては、地域住民や関係団体等の意見や意向を把握し、地域福祉の取り組みの現状や課題を明らかにした上で、それらに対する解決策について明示し、「地域共生社会*の実現」を目指しています。

*地域共生社会：制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らししていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会の創るという考え方。

2. 計画の位置づけ

地域福祉計画は、社会福祉法第107条の規定する市町村地域福祉計画として位置づけられています。まちづくりの基本方針である「鷹栖町総合振興計画」を最上位の計画とし、保健福祉に関する各分野別の計画を横断的につなげることで、地域福祉における共通課題に対する方向性や施策を示していきます。

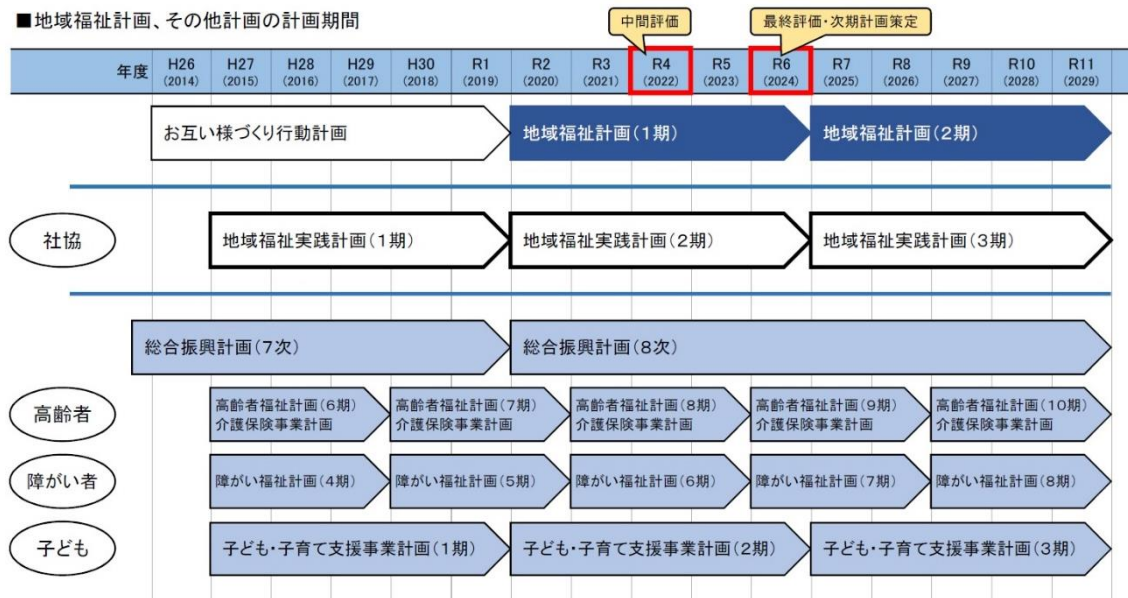
また、鷹栖町社会福祉協議会が策定する「地域福祉実践計画」とも連動した計画を策定することにより、地域福祉の方向性を共有し、『地域福祉の推進』を図ります。



3. 計画の期間

計画期間は2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）までの5箇年とします。なお、計画の中間年に当る2022年度（令和4年度）及び次期計画策定年度に当る2024年度（令和6年度）には評価検証を行い、必要に応じて見直しを図ります。

■地域福祉計画、その他計画の計画期間



4. 計画策定の経過

計画の策定にあたって、鷹栖町社会福祉協議会と共同でアンケート調査及び住民座談会「しゃべろう会」を実施し、広く意見をいただきました。

(1) アンケート調査

分類	全世帯版	中学生版
調査地域	鷹栖町全域	鷹栖町全域
調査対象	鷹栖町に居住する広報配布世帯及び広報未配布世帯のうち居住把握世帯	令和元年6月17日現在において鷹栖中学校に在籍している生徒
調査期間	2019年3月5日から3月31日	2019年6月17日から6月28日
配布数	2,511票	242票
回収数	1,829票（回収率72.8%）	195票（回収率80.5%）

■アンケート調査集計結果（要旨）■

【全世帯版】

■鷹栖町に住み続けることへの意識

とても思う（38.6%）、まあまあ思う（43.4%）、あまり思わない（8.7%）、まったく思わない（1.1%）

■地域における付き合い

親しい付き合い（27.2%）、立ち話程度（39.3%）、あいさつ程度（31.9%）

■町内会活動・地域の行事への参加状況

積極的に参加（16.3%）、ときどき参加（55.3%）、参加してない（28.4%）

■ボランティア活動への参加状況

している（25.6%）、していたことがある（28.5%）、したことがない（45.9%）

■生活上の悩みや不安

老後の生活（68.2%）、災害が生じた際の生活（34.3%）、家族の健康状態（28.3%）、家族の介護（26.7%）

■住民同士の支え合い活動（できる＋少しならできる）

電話による安否確認（85.7%）、訪問による安否確認（69.9%）、話し相手（67.9%）、家の掃除洗濯（29.9%）、食事の準備（21.4%）、ゴミ出し（61.4%）、電球交換など（62.0%）、買い物の代行（48.5%）、外出への付き添い（32.6%）、ペットの世話（23.1%）、庭や家周りの手入れ（38.1%）、除雪の手伝い（50.5%）、災害時の安否確認等（74.0%）

■組織・団体の認知度

民生委員を知っている（41.4%）、福祉委員を知っている（27.7%）、生活福祉相談センターを知っている（41.7%）

【中学生版】

■鷹栖町への好感度

好き（64.3%）、どちらかというと好き（20.2%）、どちらでもない（13.5%）、どちらかというと嫌い（1.0%）、嫌い（1.0%）

■地域での挨拶

得意でしている（47.9%）、苦手だけどしている（47.9%）、苦手ではない（2.1%）、苦手ではないけどしていない（2.1%）

■楽しい場所・落ち着ける場所

自宅（35.1%）、学校（17.2%）、公園（13.0%）、住民センター（9.8%）

■楽しいと感じていること

友達と過ごす（27.3%）、ゲームやスマホ（11.6%）、学校（9.4%）、部活動（9.0%）

■不安に思っていること・困っていること

勉強や進路（48.4%）、部活動（9.7%）、人間関係（9.7%）、その他（32.2%）

■相談相手

友達（34.1%）、父母（24.8%）、先生（18.3%）、家族（13.7%）

(2) 住民座談会「しゃべろう会」

■開催一覧表

開催日	時間	会場	対象地域	参加人数
2019 年 9 月 20 日 (金)	18:30～	北野地区 住民センター	北野東・北野西・シンフォニー	10
2019 年 10 月 21 日 (月)	18:30～	中央地区 住民センター	向日葵・第 27・北央・豊央・30 区	19
2019 年 10 月 23 日 (水)	18:30～	鷹栖地区 住民センター	鷹栖北・鷹栖南・ハーモニー・大成	13
2019 年 10 月 25 日 (金)	18:30～	鷹栖地区 住民センター	13 区・14 区・15・第 16・17 区・第 18 区・瑞穂・21 区・有明・第 23 区・共栄・25 区	9
2019 年 10 月 30 日 (水)	18:00～	北斗地区 住民センター	共和・34 区・北斗・36 区・37・吹上・真正・知遠別	17
2019 年 11 月 1 日 (金)	18:00～	北成地区 住民センター	北門・成和・北栄・北維	9
2019 年 11 月 6 日 (水)	18:30～	北野地区 住民センター	1 区・2 区・3 区・4 区農事・5 区 天満・8 区・9 区・10 区・11 区	11

合計 88 名が参加

■座談会でのテーマ・いただいた意見など

●魅力ある理想の地域像

- ・“おすそわけ”が自然とできるような『結』のある地域
- ・色々な事にチャレンジできるよう助けてくれる人がいて、自分らしさや自分の役割が地域の中にあること
- ・高齢者だけでなく、子どもや若い世代も含めた多世代が交流できる地域
- ・大人が鷹栖に誇りを持ち、子どもへ郷土愛を育むことで誰もが鷹栖が好きになること

●いつまでも今の地域に住み続けるために必要なこと

- ・車が無くても安価で移動できる仕組み
- ・地域内に若い方が移住してくること
- ・気を使わない助け合いの仕組み
- ・近隣住民同士が日頃から顔を合わせ、何かあった時に助け合える関係を作っておくこと

●将来の漠然とした不安を無くすためにあったら良いこと

- ・ 地域のために何かしたいと思っている方が、気軽に参加できて多少のお金も得られるような仕組み
- ・ 直接情報を伝えてくれる人や状態を見に来てくれる人など、定期的に訪問してくれる人の存在
- ・ この人に言えば安心という人の存在
- ・ 自分に合った健康を維持するための仕組み
- ・ 若い人とのおしゃべり、送迎付きの集いの場

●今の住まいに住み続けるのではなく、転居を選択した理由

- ・ 子どもや孫に迷惑をかけたくない
- ・ 年齢を重ねるとお互いに助け合っても出来ないことが増えてくるから
- ・ 運転や除雪が出来なくなったらここには住めないと思っている
- ・ 周りの人や親しい友人がいなくなると、住み続けたいとは思えなくなる
- ・ 住宅が老朽化しており、多額の費用をかけて修繕するのは難しい

●なぜ、人は助けてと言いつらいのか

- ・ どこに相談してよいか分からない
- ・ プライバシーが守られるか不安
- ・ プライドがあったり、相手に迷惑をかけてしまうと思うから

●どうしたら助けてと言いやすくなるか

- ・ 相談する場所が分かれば相談しやすくなる
- ・ 公的な機関がしっかり受けてくれるほうがプライバシーが守られる安心感がある
- ・ 相談したときに嫌な思いをしたら二度と相談しようとは思わなくなる
- ・ 信頼して初めて相談できる、信頼関係を構築することが大事
- ・ 助けてと言わなくても、おしゃべりの中から気付くこともあり、日頃のおしゃべりが大切
- ・ 相談しに行くのは勇気が必要
- ・ 助けてもらうにも無料だとお願いしづらいので、安価で助けてくれる仕組みがあると良い

